

**乙訓圏域障がい者自立支援協議会**  
**令和5年度 第3回人材確保・育成部会 会議録**

日 時 令和5年10月30日(月) 10:00~11:05

場 所 乙訓福祉施設事務組合大会議室

出席者 12名

向日市社協障がい者地域生活支援センター、向陵会、障害者支援施設晨光苑、乙訓の里、長岡京市商工会、乙訓保健所福祉課、向日市障がい者支援課(2名)、長岡京市障がい福祉課、大山崎町福祉課

欠席者 2名

こらぼねっと相談支援センター、障がい福祉センターあらぐさ

事務局 3名

傍聴者 0名

配布資料 ・次第

- ・京都保育福祉専門学院での就職フェア及び西山短期大学での就職ガイダンスについて報告
- ・人材育成に携わる圏域法人職員の交流会 実施要項
- ・未定稿 もとむ!求人企業 「乙訓地域で働きたい方のための就職フェア」

## 会議概要

### 1 新任職員連続講座について

- 事務局 ・9月15日、「乙訓地域の当事者家族の思いを知る」ということで、乙訓やよい会の方に来ていただいた。やよい会発足の経緯と当事者家族の苦しい時期の話を聞かせていただいた。加えて、令和4年度の自立支援協議会の活動内容を簡単に報告した。17名の参加だった。
- ・9月22日、「乙訓の障がい福祉を知る」ということで、あらぐさ福祉会の方に来ていただいた。立ち上げから現在まで、「何もないところからできることはなんでもしてきた」とのお話があった。講演をきき、あらぐさを見学したいという声があり、調整させていただいた。16名の参加だった。
- ・9月29日、「障害福祉サービスとその利用、市町の独自の取り組み」ということで、2市1町の障がい福祉担当課の方々に来ていただいた。19名の参加だった。
- ・いろいろなテーマでお話を聞けてとてもよかった。

- 部会長 ・参加者からいただいている意見などあるだろうか。  
 事務局 ・15日の精神のご家族のお話はなかなか聞く機会がなくてよかったと思う。  
 ・あらぐさ福祉会に関しても福祉の制度を交えながら、その経緯を含めてお話を聞いたので大変勉強になったということだった。  
 ・障害福祉サービスに関しても、相談支援でなければ細かく知らないもので、一連の流れがわかってよかったということだった。
- 部会長 ・親の会や事業所からの話はこれまでもあったと思うが、今回はじめて市町からの報告があって、僕も聞きたかった。
- 事務局 ・3日目の参加者が一番多かったので、ニーズがあったのかなと思う。  
 ・3日目は内容が盛りだくさんで、参加者同士の意見交流の時間がとれず、残念だった。
- 部会長 ・新任職員研修では、制度関係の話は難しかったのではという印象があるがどうだろうか。
- 事務局 ・内容が多く、駆け足だったので、もう少しゆっくり話ができるよかった。
- 部会長 ・新任職員にはついていけない部分があるかもしれないが、制度のことは大切なのでこういう機会があればいいと思う。
- 委員 ・3日間の参加者の顔ぶれはどうだったか。29日だけ全く顔ぶれが違ったなど。一応3回連続で参加するのが条件ではあったが。
- 事務局 ・29日だけ参加されている方もあったが、顔ぶれが全く変わっていることはなかった。
- 委員 ・交流の機会を通して、横のつながりは深まっただろうか。
- 事務局 ・1回目、2回目は交流の時間をとった。よく話をされていた。こういう機会があるなら、また参加したいという声もあった。  
 ・ベテランの方でも、この圏域を知らない人にとっては、お互いを知り、学べたのはよかった。
- 部会長 ・もうひとつの目的は横のつながりづくりなので、それも達成できるといいと思う。新任職員は名刺も持っていない人が多いので、名刺交換もないが、顔を見て覚えていたら、次会った時に声をかけられるのでよい。  
 ・中堅の方から制度を知りたいというニーズがあれば、別の形であってもいいかもしれない。
- 委員 ・制度に関しては市役所の障がい福祉が担っているという周知が、この研修の場でできてよかった。直接問い合わせしていただくきっかけになるかもしれない。
- 部会長 ・今さら聞けないというのもあると思う。いい形で引き継げればよいと思う。

## 2 京都保育福祉専門学院での就職フェア及び西山短期大学での就職ガイダンスについて

- 部会長 ・資料：「京都保育福祉専門学院での就職フェア及び西山短期大学での就職ガイダンスについて報告」を参照しながら説明。  
 ・保育の学生対象で、周りのブースも保育関係がほとんどだった。
- 事務局 ・去年実施した就職ガイダンスを聞いた学生もいたので、影響も大きいと感じた。
- 部会長 ・まだ夏休み期間であることもあって、来場者が少なかったように思う。  
 ・次に、西山短期大学での就職ガイダンスについて、資料を見ながら説明。
- 事務局 ・就職ガイダンス後の感想では、障害分野には興味がなかったが、今回興味をもったというのが多数あった。児童だけでなく障がい者の分野にも興味をもったとの意見もあった。

・就職ガイダンス後の感想や、当日の様子から、障害分野に興味を持った学生が一定数いると感じた。今後も続けていきたいと思った。

委員 ・当日の感触として、障害福祉に関する知識がない学生だったので、何を聞いたらいいのかわからないようだった。特に私の法人は入所施設なので、新しく知っていただくいい機会となった。

委員 ・保育関係に進もうと思ったきっかけを学生に聞くと、子どもやご家族の役に立ちたいとのことだった。大人の障害福祉でもそのやりがいを感じられるという魅力を伝えた。障害の世界も選択肢に加えられたように思う。

部会長 ・当日、学生の様子では、あまり興味がなさそうに感じたのだが、感想を見ると、見た目の反応と違うようだった。その時の雰囲気はよくななくてもやり続けなければと思った。

・障害分野を知らなかったので選択肢に入らなかったが、知ると選択肢に入ることが、実感できた。

事務局 ・反省点として、1階と2階に会場がわかれているので、10分ごとのブースの移動が難しかった。行きたいブースに行けなくて、戸惑っている学生がいたので、うまくローテーションができるとよかった。

部会長 ・先生が気をつけてくださって、必ず誰かがブースに来るように指示されていたが、行きたいところへ行かせてあげてもよかった。

・昨年度の京都保育福祉専門学院でも就職ガイダンスの手応えは感じていたが、今年度、就職フェアにはつながらない状況があったので、かかわりの継続性など課題があると感じた。

部会長 ・就職ガイダンス後、見学の申し込みは、あったらどうか。

事務局 ・今のところない。事業所に直接問い合わせがあるかもしれない。

部会長 ・見学への一歩を踏み出すのは勇気がいるかもしれない。てくてく、ぼつとまむ、こらぼ、あらぐさの様子は、今ここではわからないので、また聞いてみたい。

### 3 就職フェアについて

委員 ・資料:「もとむ! 求人企業「乙訓地域で働きたい方のための就職フェア」」を参照しながら説明。

・開催日時が決まった。例年、平日実施だったが、中途採用の方が多いので土曜日にした。

・去年は場所がイオンホールだったが、広い方がいいということでバンビオにした。

・職業訓練の相談はハローワークが行う。福祉関係も入れていただく予定である。

・今年から新しい試みとして、参加ブースが自社をPRする時間を設けている。職種によって人気の隔たりがある。建設関係は閑散としている。企業から来場者に短時間で話をしてもらい、ブースに来ていただけるようにしたい。自立支援協議会にも、PRしていただければと思う。ご希望であれば事前にお伺いしたい。希望される企業数によって、時間が決まってくるので、必ずしも参加いただけるとは言えないが、調整をしている。5分以内程度になる予定である。

部会長 ・前向きに検討するということがいいだろうか。

事務局 ・PRタイムは、どのように取られるだろうか。

委員 ・検討中だが、PRタイムを別に設けるのではなく、職業訓練の相談を待っている方などに対して並行してアナウンスするようになる。

部会長 ・このフェアは、開催時間内にぱらぱらと来場者がある。

- 委員 ・ 昨年は、アンケートだけで 100 名あったので、来場者はその倍はあったと思う。待ち合いの方に対して、常時どこかの企業が断続的に PR しているイメージをもっている。
- 部会長 ・ 10 月 21 日に京都府南部の法人参加で福祉フェアが経済センターであった。50 名ぐらいの来場者だった。ブースを回る前にセミナー会場に集まってもらって、30 分ぐらい説明をしてからブースを回ってもらった。PR を並行して行くと、話を聞く人が誰もいない状況が予想されたのでこの形をとった。全法人が 1 分以内で紹介をして、それを聞いて回るブースを考えてもらうこともあった。
- 委員 ・ 会場内に誰か来場者がいるだろうという想定で、PR コーナーを設けようと思っている。  
・ 今回は会場がバンビオなので、自立支援協議会には、会場内ではなく、3 階にあがったところ受付横の通路にパンフレットをおいてもらうことになる。
- 部会長 ・ 部会としては、PR できるお時間がいただけるようなら、応募させていただく。企業が優先であることも承知し、やり方はおまかせする。
- 委員 ・ 法人紹介の YouTube 動画を作成されているようなので、活用されたいと思う。
- 部会長 ・ 法人ごとの動画は 5 分で長いので、乙訓の障害施設の PR 動画があればいいと思う。スライド投影のためのプロジェクターは用意されるのだろうか。
- 委員 ・ 何か用意したいと思っている。
- 部会長 ・ 乙訓の障害施設を紹介するパワーポイントなど作ってもいいと思う。  
・ 当日、誰が担当するかは、次回までに確定したい。

#### 4 人材育成に携わる職員の交流会について

- 部会長 ・ 資料：「人材育成に携わる圏域法人職員の交流会 実施要項」を参照しながら説明。  
・ 10 月 11 日から案内を開始し、募集締切が 11 月 10 日。現段階での申込み状況はどうだろうか。
- 事務局 ・ 3 名である。
- 部会長 ・ 少ないので、11 月初めにもう一度発信していただきたい。
- 事務局 ・ 昨年度も部会員以外の参加が、8 名程度だった。
- 部会長 ・ 部会員の参加はどうだろうか。行政の方もどうだろうか。前は来ていただいている。メインは事業所になるが、保健所はオブザーバー的な参加でもお願いしたい。  
・ グループに分かれて意見交流をするが、ファシリテーターを部会員から 1 名入れたい。  
・ 発表を依頼している事業所には、パワーポイントの資料を用意していただく。
- 事務局 ・ パワーポイントでない事業所もある。
- 部会長 ・ 準備物は、プロジェクターとスクリーンは保健所で借りて、パソコンは事務局で準備する。  
・ 資料配付された要項の内容のところに「※調整する」とあるがどういうことだろうか。
- 事務局 ・ 交流内の会話が盛り上がるようなら、時間を調整すればいいと思っている。
- 部会長 ・ 参加者が確定したら、グルーピングをしたい。発表者が重ならず、ファシリテーターを部会からだすように事務局とつめたい。

#### 5 その他

部会長 ・次年度以降、部会をどのようにしていくかについて、前回もみなさんからご意見はいただいているが、副部会長とも打ち合わせができていないので、今回は一旦保留とする。

次回 1月15日(月) 10:00 から 乙訓福祉施設事務組合 大会議室にて